

「SSP杯」第2幕。少林寺拳法部、見事な演武を披露。 文責 学校長



～男子バドミントン部、団体・ダブルス共に3位入賞～

1 女子サッカー・卓球・水泳・バドミントン・少林寺拳法部の諸君が最後の闘いに挑みました。

6月20日・21日に、SSP杯の第2幕の大会が行われ、女子サッカー・卓球・水泳・バドミントン・少林寺拳法の各部が最後の闘いに挑みました。男子バドミントン部は団体で3位に、ダブルスの中野健大朗くん(3年)・山口皓太郎くん(3年)のペアが3位にそれぞれ入賞しました。少林寺拳法部は副知事観覧の中、男女団体演武、男女組演武・女子単独演武で見事な演武を披露し、男子組演武では轟木捷斗くん(3年)・小楠聖己くん(3年)が、女子組演武では前田夕奈さん(2年)・真崎菜々子さん(2年)が、女子単独演武では西津満月さん(1年)が優勝しました。

2 期末考査まで10日となりました。1年生は早めの準備と計画的な学習を。

7月2日(木)から1学期の期末考査が実施されます。5月の中間考査が休校措置に伴い中止となったため、今回の期末考査が1学期の成績の大きなウェイトを占めます。試験範囲も広いと思われるので、特に1年生は早めに考査のための学習に取り掛かりましょう。下記の学習プランも参考にして計画的な学習をスタートさせましょう。

◆具体的な学習プラン例・・・※試験科目が4日間で10科目実施される場合で作成しています。

6/22(月) 考査10日前	6/23(火) 考査9日前	6/24(水) 考査8日前	6/25(木) 考査7日前	6/26(金) 考査6日前	6/27(土) 考査5日前	6/28(日) 考査4日前	6/29(月) 考査3日前	6/30(火) 考査2日前
考査前1週間分の予習及び課題	考査1日目の学習 3科目×2h	考査2日目の学習 2科目×2h +予習	考査3日目の学習 3科目×2h	考査4日目の学習 2科目×2h +予習	考査1・2日目の学習 5科目×2h +予習	考査3・4日目の学習 5科目×2h +予習	考査3日目の学習 3科目×2h	考査4日目の学習 2科目×2h
7/1(水) 考査前日	7/2(木) 考査1日目	7/3(金) 考査2日目	7/4(土) 考査期間中	7/5(日) 考査期間中	7/6(月) 考査3日目	7/7(火) 考査4日目	土・日にどれだけ頑張れるかが鍵。	
考査1日目の学習 3科目×2h	考査2日目の学習 2科目×2h	考査3日目の学習 3科目×2h	考査4日目の学習 2科目×4h	考査3日目の学習 3科目×4h	考査4日目の学習 3科目×2h	考査の復習 4日間の考査の見直し		

3 今週の話成語・・・「百聞は一見に如かず」

【問題】「百聞は一見に如かず」を英語3語で表現すると。

何度くり返し聞いても、一度でも実際に見ることには及ばない。何事も自分の目で確かめてみるべきだという教え。
(出典：『漢書 [趙充国伝]』より)

【由来】『漢書』趙充国に由来する語です。その話は次のような話です。

漢の宣帝が反乱を起こしたチベット系の遊牧民族を鎮圧するために、家臣の趙充国に必要な戦略と兵力を尋ねた。充国は「遠く離れた場所で戦略は立てにくいので、自分が現地に行って実際に見たものを地図に描き、戦略を申し上げたいのですが」と許しを請うた。という話に由来します。右に原文(書き下し文)を載せています。2・3年生わかりますか？

上遣はして問はしめて曰く、
「將軍、羌虜を度ること何如。
当に幾人を用うべきか。」と。
充国曰く、「百聞は一見に如かず。
兵は踰かに度り難し。臣願はくば馳せて金城に至り、方略を上らん。」と。

4 今週の名言・・・星野仙一氏(岡山県出身)の言葉です。

○どんな時でも過去ではなく、未来をイメージし続けよう。そのためにも、目標に少しでも近づけることを、どんな時でも確実にやっいていこう。その積み重ねが後になって必ず役に立ってくる。
○夢中になれる仕事自体が見つからないということに対して、見つけることよりも、やってみることが大事なんだ。少しでも好きになれそうな仕事に、とりあえずチャレンジしてみる。

【解説】プロ野球選手・監督として日本球界を牽引し続け、昨年1月に帰らぬ人となった闘将・星野仙一氏の言葉です。将来の進路や職業選択に不安を抱く若い君たちに向けたメッセージにもなっています。過去にとらわれず常に未来をイメージしてチャレンジすることの大切さを説いています。

【星野仙一について】日本のプロ野球選手・監督、野球解説者、タレント。岡山県児島郡福田町(のちの倉敷市)出身。選手時代のポジションは投手。中日ドラゴンズ・阪神タイガース・東北楽天ゴールデンイーグルス監督も務めた。2008年には北京オリンピック野球日本代表の監督も務めた。15年より亡くなるまで楽天野球団取締役副会長を務めた。ビートたけしとは明治大学の同期生にあたる。愛称は「燃える男」「闘将」「仙さん」他。(参考：「Wikipedia」より)

5 入試によく出る漢字・・・『一字訓ベスト400』から・その7 いくつ読めますか？

- ①司る(司会) ②累ねる(累積) ③辱じる(恥辱) ④愧じる(慙愧) ⑤拉ぐ(拉殺・拉致)
⑥対ふ(対応) ⑦抽く(抽出) ⑧貢ぐ(朝貢) ⑨蔓る(蔓延) ⑩逸る(血気に一)
⑪奔る(奔走) ⑫挟む(挟撃) ⑬搬ぶ(運搬) ⑭馳せる(馳走) ⑮炊ぐ(炊飯)
⑯敵う(匹敵) ⑰比べる(比較) ⑱携える(携帯) ⑲侮る(侮辱) ⑳外す(選外)

6 今週の一冊・・・伊東潤氏の『敗者列伝』（実業之日本社）です。

本能寺で織田信長を討った明智光秀は、なぜ数日で勝者から敗者へ転落したのか一歴史小説界の旗手・伊東潤が、古代から戦国、幕末・明治まで、日本史上に燦然と輝きを放ち、敗れ去った英雄たち25人の「敗因」に焦点を当て、真の人物像、歴史の真相に迫る歴史エッセイ。源頼朝、徳川家康ら、最後まで勝ち抜いた歴史の勝者を語る「勝者烈伝」併録。

(参考：本書裏表紙説明より)

【解説】佐賀新聞で連載されている「威風堂々」の作者・伊東潤氏の新刊本です。書名の「敗者列伝」が示すように、朝敵、奸賊、謀反人などなど歴史の闇に葬られていった男たちに焦点を当て、「敗者から学べることは、勝者から学べることよりもはるかに多い。」ことを伝えるべく平将門、源義経、明智光秀、天草四郎、江藤新平、西郷隆盛ら25人の敗者となった英雄たちの「敗因」をいま最も勢いのある歴史作家が徹底分析しています。現代を生き抜くヒントが見えてくる、熱き歴史エッセイです。本書を一読すれば、歴史の狭間に落ちてしまった者たちの怨嗟の声が聞こえてきそうな、歴史の教科書にはない英雄たちの実像に出会えます。

【作者・伊東潤氏について】1960年、神奈川県横浜市生まれ。早稲田大学卒業。『黒南風の海―「文禄・慶長の役」異聞』（PHP 研究所）で第1回本屋が選ぶ時代小説大賞を、『国を蹴った男』（講談社）で第34回吉川英治文学新人賞を、『巨鯨の海』（光文社）で第4回山田風太郎賞と第1回高校生直木賞を、『峠越え』（講談社）で第20回中山義秀文学賞を、『義烈千秋 天狗党西へ』（新潮社）で第2回歴史時代作家クラブ賞(作品賞)を受賞。『城を噛ませた男』『国を蹴った男』『巨鯨の海』『王になろうとした男』『天下人の茶』で5度、直木賞候補に。(参考：本書表紙裏の著者紹介文より)

7 日本全県の名所とスイーツめぐり・・・第11回は岡山県です。

○名所

(参考：「ぐる旅」その他より)

◆備中松山城・・・備中松山城では、空中に浮かんでいるかのような美しい天守を見ることができます。その見事な姿から、日本三大山城に数えられています。山城で天守が現存しているのは、ここ備中松山のみ。貴重な姿をぜひ見てみましょう。雲海が現れるのは季節によって若干変わりますが、主に朝霧の時間帯。特に10月～2月の早朝には朝霧が立ち込めて、雲海に浮かぶ幻想的な備中松山城の姿が見られます。雲海の中の城を見るには、「備中松山城展望台」からがおすすめ。事前のHPや天気予報のチェックは不可欠です。

◆倉敷美観地区・・・倉敷川沿いに、江戸や明治時代に建てられた歴史ある白壁の建物が並ぶ景色はレトロで美しく、一度は訪れたい場所です。倉敷美観地区には、倉敷川を舟で渡る、「くらしき川舟流し」があります。舟で進みながら見る白壁の町並みは情緒たっぷりです。その他、美観地区には全国的に有名な岡山のジーンズ工房や美味しいグルメが楽しめるカフェなど、散策して楽しめるスポットが目白押しです。

○スイーツ・土産

【岡山のきびだんご】(廣榮堂 中納言本店)岡山といえば桃太郎ですが、桃太郎がお腰につけて持って行ったものといえば「きびだんご」です。廣榮堂のきびだんごは、まさに日本一のきびだんごで、パッケージもお子様にも喜ばれるデザインとなっています。創業約150年の老舗のきびだんごなので、鉄板の岡山のお土産となっています。

【岡山白桃】(晴れの国岡山館)岡山の白桃の一番の特長はその白さにあります。その秘密は、岡山ならではの袋掛栽培にあります。青くて小さい時から実の一つ一つに手作業で袋をつけます。こうすることで、太陽の光を直接浴びない桃は、赤く色づかず、透き通るように白くてなめらかな口あたりの桃に育ちます。そのフレッシュな果物を年中いつでも味わえるお土産、それは「フルーツ缶詰」です。果実を100%使用、岡山独自の素材と製法のこだわりの逸品です。

8 保護者の皆様へ・・・新入試制度についてお知らせします。

現3年生から受験する国公立大学入試の制度が変わります。下記に示しているように呼び方(名称)も変わりますので保護者の皆さんも改めて理解してください。なお、英語外部検定は全大学一斉の成績提供

システム導入は見送られました。個別の大学では検定結果を合否に利用する大学はあります。

また、共通テストでの記述式導入も見送られましたが、思考力を重視する出題は増えることが予想されます。全教科とも問題文が長くなり、問題文そのものを正しく理解する読解力が問われる傾向となっています。

①大学入試センター試験	⇒ 「大学入学共通テスト」
②推薦入試	⇒ 「学校推薦型選抜」
③AO入試	⇒ 「総合型選抜」
④一般入試	⇒ 「一般選抜」

【原文】(白文)
上遣問焉、曰「將軍度羌虜何如、當用幾人。」充国曰「百聞不如一見。兵難踰度。臣願馳至金城、図上方略。」

【表面の問いの答】 ※「Seeing is believing.」(見ることは、信じることである。)

2・3年生、参考までに白文を右に示しています。これで訓読してみよう。

- ①つかさどる ②かさねる ③はじる ④はじる ⑤ひしぐ ⑥こたふ ⑦ひく ⑧みつぐ
⑨はびこる ⑩はやる ⑪はしる ⑫はさむ ⑬はこぶ ⑭はせる ⑮かしぐ ⑯かなう
⑰くらべる ⑱たずさえる ⑲あなどる ⑳はずす